

上げ汐

作詞 不詳

作曲 清元 清海太夫

あ 上げ汐につれて繰り出す数々の

舟は面舵、ええ、取舵やあよう

向こう鉢巻き片肌脱いで勢いを競う江戸っ子が

月と花火に浮かれつつ 急いで漕ぎ出す川開き

ええ、西瓜に真桑瓜は良うがすかな

たまごや 玉子、まめや 枝豆

東西 写し絵の儀は手元を離れ

灯り先の芸当にござりますれば、

お目まだるき処は幾重にもご容赦のほど

お願い願ひ上げ奉りまする

従いまして、此許ご覧に入れまするは

江戸は三景の一、両国は川開きの体とござります

ちよいと来なせ

ええい、押すな押すな じゃまだ邪魔だ

そーれ、上がったぞ

「玉屋」と褒めてやろうじゃないかいナ

